

＼オンライン講演会／

これからの日本語教育施策と 地域日本語教育の役割

～ドイツや韓国の移民言語施策を事例に～

講師 松岡洋子 さん

参加
無料

「長野県の日本語教育の現状と課題」

講師：長野県県民文化部文化政策課多文化共生・パスポート室 室長 春原直美 さん

12.1 (金)
14:00-15:30



昨年から、箕輪町では地域日本語教室の新たな立上げと継続、運営を図るための文化庁事業を行っています。もう一度、私たちが向かおうとしている道を確認するために、この事業において箕輪町のチーフアドバイザーを担当して下さってる松岡洋子さんに、地域日本語教室の役割について、他国と比較しながらのお話を伺います。また併せて、長野県多文化共生・パスポート室長の春原さんに長野県の現状や課題についてもご報告いただきます。

お申込み方法

下記のQRカードもしくはURLより
事前に申し込みをお願いします。

関心のある方はどなたでも。
ここからお申込みください。講演会3日前に、
ウェブセミナーのURLをお送りしますので
メールをご確認ください。
このメールが届かない方はご連絡をお願いします。

<https://logoform.jp/form/6gRD/405226>



●視聴会場もあります●
産業支援センターみのわ2Fで、
オンライン講演会の視聴ができます。

講師 松岡洋子 さん

岩手大学副学長（国際連携担当）、
国際教育センター長、教授。
専門は日本語教育、多文化社会政策
（ドイツ、韓国等の移民政策を研究）
文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員、
文化庁 地域日本語スタートアッププログラム
チーフアドバイザー、自治体国際化協会、
地域国際化推進アドバイザー

問合せ：箕輪町役場総務課 多文化共生推進員 入倉
tabunka@town.minowa.lg.jp
0265-79-3111